2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　日産東京販売ホールディングス株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　8291　　URL　https://www.nissan-tokyo-hd.co.jp/
代　　表　　者（役職名）代表取締役社長　　（氏名）　菊池　毅彦
問合せ先責任者（役職名）広報・IR部 部長　　（氏名）　中川　祐一　　（TEL）03-5496-5234
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　　2026年12月２日
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	68,148	8.0	2,416	25.0	2,961	44.6	1,708	8.7
2026年３月期中間期	63,123	△9.9	1,933	△49.1	2,048	△45.6	1,571	△36.8

（注）包括利益　2027年３月期中間期　2,138百万円（　19.9%）　2026年３月期中間期　1,783百万円（　19.3%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	28.74	―
2026年３月期中間期	26.44	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	103,946	59,842	57.6
2026年３月期	101,522	58,594	57.7

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　59,842百万円　　2026年３月期　58,594百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	12.00	―	15.00	27.00
2027年３月期	―	13.00			
2027年３月期(予想)			―	14.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	8.5	6,000	26.1	5,500	15.7	3,500	30.5	58.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更　：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年３月期中間期	59,578,916株	2026年３月期	59,578,916株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	105,045株	2026年３月期	117,345株
③　期中平均株式数(中間期)	2027年３月期中間期	59,465,975株	2026年３月期中間期	59,452,237株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
(1) 当中間期の経営成績の概況 …… 2
(2) 当中間期の財政状態の概況 …… 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
(1) 中間連結貸借対照表 …… 4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 9

１．経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の経営成績は、新車販売の拡大、中古車および整備事業の堅調な推移により、増収増益となりました。売上高は68,148百万円（前中間連結会計期間比5,025百万円増、8.0％増）、営業利益は2,416百万円（前中間連結会計期間比483百万円増、25.0％増）、経常利益は2,961百万円（前中間連結会計期間比912百万円増、44.6％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,708百万円（前中間連結会計期間比137百万円増、8.7％増）となりました。

新車販売では、上期に販売を開始した新型「キックス」および新型「エルグランド」などの新型車効果に加え、16年以上にわたるＥＶ販売で培った経験を活かした「日産リーフ」「日産サクラ」などの販売が、国および東京都のＥＶ購入補助金等の追い風もあり好調に推移したことから、新車販売台数は前年同期を上回りました。中古車販売では、新車販売の拡大に伴う下取車の増加等により、販売車両が充実し、好調に推移しました。整備事業についても、安定した基盤を維持し、堅調に推移しました。その結果、将来の成長に向けた投資を継続する一方、コスト削減にも取り組んだことなどにより、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益はいずれも前年同期比で増益となりました。

下期については、上期中に販売を開始した新型車が通年で寄与することに加え、車種およびグレード別構成比の改善によって需要の取り込みを見込んでおります。また、新車販売の拡大に伴う下取車を活用した中古車販売の強化や、整備事業を中心とするストック収益の着実な積み上げを図ってまいります。これらを踏まえ、補助金制度や市場環境の変化を注視する必要はあるものの、現時点において、2026年５月14日に公表した通期連結業績予想に変更はありません。

当社グループは、現中期経営計画において、「電動化リーダー」「安全・運転支援技術」「モビリティ事業」の３つの成長戦略を推進しております。引き続き、これらの成長戦略を着実に推進するとともに、将来の成長に向けた投資を実行し、持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産は103,946百万円（前連結会計年度比2,423百万円増、2.4％増）となりました。主な内容は、現金及び預金が1,452百万円、商品が110百万円、有形固定資産が199百万円、投資有価証券が810百万円、その他投資資産が237百万円増加し、受取手形及び売掛金が215百万円、その他流動資産が158百万円減少しております。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債は44,103百万円（前連結会計年度比1,176百万円増、2.7％増）となりました。主な内容は、未払法人税等が490百万円、契約負債が783百万円、その他流動負債が709百万円、繰延税金負債が285百万円、その他固定負債が373百万円増加し、買掛金が311百万円、長期借入金が1,014百万円、長短リース債務が109百万円減少しております。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は59,842百万円（前連結会計年度比1,247百万円増、2.1％増）となりました。主な内容は、配当金の支払がありましたが親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことにより利益剰余金が815百万円、その他有価証券評価差額金の増加などによりその他の包括利益累計額が429百万円増加しております。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、17,106百万円（前連結会計年度比1,452百万円増、9.3%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は6,044百万円（前中間連結会計期間比5,096百万円の収入増）であります。主な資金の増加は、税金等調整前中間純利益が2,638百万円、減価償却費が1,581百万円、売上債権の減少が219百万円、棚卸資産の減少が812百万円、契約負債の増加が783百万円、未払消費税等の増加が603百万円であり、主な資金の減少は、退職給付に係る資産負債の減少が263百万円、仕入債務の減少が316百万円、その他営業活動による支出が218百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は2,560百万円（前中間連結会計期間比1,687百万円の支出減）であります。主な資金の減少は、有形固定資産の取得による支出が2,526百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は2,031百万円（前中間連結会計期間比135百万円の支出増）であります。主な資金の減少は、1年内を含む長期借入金の返済による支出が1,014百万円、リース債務の返済による支出が126百万円、配当金の支払による支出が890百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2026年５月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,654	17,106
受取手形及び売掛金	3,464	3,248
商品	15,439	15,550
仕掛品	349	410
貯蔵品	34	31
その他	2,175	2,016
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	37,113	38,360
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,718	9,484
リース資産（純額）	5,070	4,812
土地	29,924	29,926
その他（純額）	8,371	9,061
有形固定資産合計	53,085	53,285
無形固定資産		
のれん	451	406
その他	187	180
無形固定資産合計	638	587
投資その他の資産		
投資有価証券	6,890	7,701
繰延税金資産	162	139
その他	3,682	3,919
貸倒引当金	△50	△48
投資その他の資産合計	10,684	11,712
固定資産合計	64,408	65,585
資産合計	101,522	103,946

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,229	11,917
1年内返済予定の長期借入金	2,029	2,029
リース債務	251	235
未払法人税等	359	850
契約負債	6,055	6,838
賞与引当金	1,309	1,347
その他	3,685	4,395
流動負債合計	25,919	27,613
固定負債		
長期借入金	10,576	9,562
リース債務	3,071	2,978
繰延税金負債	1,554	1,839
役員退職慰労引当金	147	68
退職給付に係る負債	780	787
資産除去債務	699	700
その他	179	552
固定負債合計	17,008	16,490
負債合計	42,927	44,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,752	13,752
資本剰余金	248	248
利益剰余金	38,246	39,062
自己株式	△32	△29
株主資本合計	52,214	53,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,986	4,541
退職給付に係る調整累計額	2,393	2,267
その他の包括利益累計額合計	6,379	6,808
純資産合計	58,594	59,842
負債純資産合計	101,522	103,946

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	63,123	68,148
売上原価	47,702	51,766
売上総利益	15,420	16,381
販売費及び一般管理費	13,487	13,965
営業利益	1,933	2,416
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	121	138
受取手数料	290	688
雑収入	37	103
営業外収益合計	450	931
営業外費用		
支払利息	84	115
支払手数料	162	163
雑損失	88	107
営業外費用合計	334	386
経常利益	2,048	2,961
特別利益		
投資有価証券売却益	42	－
受取補償金	350	－
特別利益合計	392	－
特別損失		
固定資産除売却損	42	28
減損損失	12	295
特別損失合計	55	323
税金等調整前中間純利益	2,385	2,638
法人税、住民税及び事業税	116	808
法人税等調整額	697	121
法人税等合計	813	929
中間純利益	1,571	1,708
親会社株主に帰属する中間純利益	1,571	1,708

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	1,571	1,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	347	555
退職給付に係る調整額	△135	△125
その他の包括利益合計	211	429
中間包括利益	1,783	2,138
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,783	2,138

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,385	2,638
減価償却費	1,483	1,581
のれん償却額	45	45
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	△2
賞与引当金の増減額（△は減少）	△126	38
退職給付に係る資産負債の増減額（△は減少）	△309	△263
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△18	△78
受取利息及び受取配当金	△122	△139
支払利息	84	115
固定資産除売却損益（△は益）	42	28
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	△42	－
減損損失	12	295
受取補償金	△350	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,497	219
棚卸資産の増減額（△は増加）	2,351	812
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,381	△316
契約負債の増減額（△は減少）	△2,908	783
未払消費税等の増減額（△は減少）	△413	603
その他	△659	△218
小計	569	6,142
利息及び配当金の受取額	122	139
利息の支払額	△84	△115
補償金の受取額	350	－
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△8	△121
営業活動によるキャッシュ・フロー	948	6,044
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,357	△2,526
投資有価証券の売却による収入	49	－
その他	60	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,248	△2,560
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△989	△1,014
リース債務の返済による支出	△185	△126
配当金の支払額	△711	△890
その他	△9	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,896	△2,031
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,196	1,452
現金及び現金同等物の期首残高	16,741	15,654
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,544	17,106

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、「自動車関連事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。